



シードコムス 通信

SUPPLEMENT SHOP

Vol.47

「素直な心」とは、従順さではなく、
私心にとらわれず物事をありのままに正しく見る心のこと。

松下幸之助



首里城が教えてくれる“たくましさ”

那覇で生まれ育った、生粋のウチナーンチュ。梱包部の久場川です。子育てもひと段落し、今はフラやアダン葉帽子編みなどの趣味を楽しみながら、那覇の街を案内するボランティアガイド「那覇まちま〜い」の活動もしています。私の担当は首里城。何度訪れても、やっぱり心が落ち着く特別な場所です。

2019年の火災で正殿が焼けてしまったときは、本当にショックでした。ちょうどガイドを始めたばかりで、翌年はコロナの影響もあり、観光自体が止まってしまいました。でも、落ち込んでばかりもいられません。再建に向けて工事が進み、宮大工の皆さんの真剣に向き合う姿に励まされ、私も頑張らなければと思いました。今では建設途中の首里城を見学できる特別なツアーも始まっています。前回の再建では関係者しか見られなかった現場が、今回は一般にも公開されています。

首里城は世界遺産にも登録されていますが、実は登録されているのは正殿そのものではなく、建物を支える土台の跡（基壇）なんです。これまではガラス越しにその一部を公開していましたが、火災のあと、その部分が焼け残ったことで、全体の姿を間近で見るレアな体験もできました。

そして、首里で一番高い場所「東のアザナ」に立つと、尾根のラインがきれいに見えて、かつての城が自然の地形と共に築かれていたことを実感しました。悲しい出来事をきっかけに、これまで見えなかった首里城の姿や風景に出会えたことは、ガイドとして何よりうれしいことでした。

首里城はこれまでに幾度も焼失と再建を繰り返し、そのたびに立ち上がってきました。その姿はまさにウチナーンチュのたくましさと誇りの象徴です。これからも、復興の歩みをそばで見守りながら、訪れる人たちに首里城の“今”を伝えていきたいと思います。

梱包部 久場川



季節と体の小さなお話

12月に入ると気温がぐっと下がり、雪の便りが届くほど冬の厳しさが増してきます。一方、私たちの拠点・沖縄では日中20℃を超える日もあるほど。同じ日本でも、ここまで気温に差があるのは面白いですね。

気温が違って共通しているのが、インフルエンザが一年で最も流行しやすい時期だという点です。今年は特に感染者数が過去最高レベルとも報じられ、全国的に一層の注意が必要です。年末年始は生活リズムが乱れやすく、免疫のバランスも崩れやすい時期。睡眠や食事、手洗い、うがいなど、基本的な習慣を丁寧に見直すことが大切です。

私たちシードコムスも、皆さまがこの冬を健やかに過ごせるよう、引き続き商品づくりを通して寄り添ってまいります。どうぞお体に気をつけて、心地よい季節をお過ごしください。



沖縄ありんくりん

※ありんくりんは沖縄方言で
あれもこれもという意味

沖縄の子ども文化

0歳：ハチムーチャー(初鬼もち)



赤ちゃんが初めてのムーチャーを迎える際に
親族や近所の人々にムーチャーを配る風習。
皆に感謝と幸せを届けます。

ムーチャー：旧暦12月8日に月桃の葉で包んだお餅を供える沖縄の厄除け祈願

3歳：公立小学校の中に幼稚園!?



沖縄の幼稚園は小学校の敷地内にあります。
理由は諸説ありますが、アメリカ統治下時代に
アメリカの教育システムが適用された名残とも。

1歳：タンカーユーエー



ご飯：食べ物に困らない そろばん：商売上手 おれ：お金に困らない

1歳の誕生祝いには親族を集めて盛大に行います。
子どもに数種類の中から道具を選ばせて
将来を占う独自の風習は大盛り上がり必須!

11歳の女の子：13歳祝い



成人式さながらの
スタジオ撮影

昔の沖縄は干支を周回するとお祝いする風習があり
当時女性は2度目の周回以降は大半が嫁いでいたため
最初の周回を盛大に祝福。その風習が今も残っています。

もちろん七五三や成人式も行うので…沖縄は子どものお祝いが盛りだくさんです。



【発行元】

株式会社エフ琉球 担当：長濱 諒 (シードコムス通信 編集室)
〒900-0012 沖縄県那覇市泊 2-1-21 尚平ビル 1F
☎ 098-963-9076

